



まなづる小学校に岩手県から新米が届きました。



令和4年11月13日（日）に開催された「ねんりんピックオリエンテーリング交流大会」において、当日に大会に参加される代表チームの皆様喜んでいただけるように、真鶴放課後子どもいきいきクラブとまなづる土曜教室の登録児童による選手の皆さまへの激励の手紙を送りました。

低学年児童が中心の「真鶴放課後子どもいきいきクラブ」の登録児童は、イラストに激励のメッセージを加え、小学校6年生対象の「まなづる土曜教室」は、図書館から都道府県に関する蔵書を借りてきて各自治体の特徴を調べて激励のお手紙を完成させました。手紙は、大会前日に開催された代表者会議の席で、各チームの代表者の選手の皆さまに届けられました。

大会終了後には、複数の代表チームからお礼の手紙をいただき、その中でも岩手県の代表チームである「岩手県オリエンテーリング協会」の選手の方から、手紙の内容に感激するとともに「岩手県は米作りもさかんなんですね！」との子どものメッセージが目に残ったとのことで、それに応えていただく形で、12月中旬にまなづる小学校にお米30kgとお手紙を送っていただきました。

児童たちが選手たちに喜んでもらいたいという思いで一生懸命に手紙を書き、それに対してお礼の手紙や品物をいただいた、お心づかいに感謝します。

送っていただいたお米は、12月21日(水)にまなづる小学校の2学期最後の給食でバターライスのメニューを予定していましたが、急遽、白飯のメニューに変更していただきました。子どもたちは、美味しそうに食べていました。



代表者会議で手渡された児童からの手紙



選手からのお礼の手紙



岩手県選手団の皆さま



岩手県代表選手から送られてきたお米



いただいたお米で作られた給食を食べる児童たち

